

## 静岡県スポーツ推進計画（第3期）の策定に向けた準備

### 1 要旨

令和3（2021）年度に終期を迎える静岡県スポーツ推進計画の策定に向け、現計画の進捗を検証・評価を行い、本審議会での審議を実施する。

なお、スポーツ基本法において、県計画は、国スポーツ基本計画を参酌すべきとされており、策定年度が、国の次期計画の策定年度と重なるため、国計画の進捗を注視しながら策定作業を進める。

### 2 「静岡県スポーツ推進計画」（以下、現計画）の趣旨

現計画は、本県のスポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進するものとして国の第2期スポーツ基本計画を参酌して、平成30年3月に策定

	県	国
H17(2005).3	スポーツ振興基本計画 策定 期間:18~22年度	
H23(2011).3	(新)スポーツ振興基本計画策定 期間:平成23~32年度、平成25年度頃見直し	
H23(2011).6		スポーツ基本法
H24(2012).3		スポーツ基本計画策定 期間:平成24~28年度
H26(2014).7	スポーツ推進計画策定 目標年次を32年度としていたが県総合計画後期アクションプラン(平成26~29年度)に合わせて平成29年度に見直し	← 参酌
H29(2017).3		第2期スポーツ基本計画策定 期間:平成29~33年度
H30(2017).3	スポーツ推進計画改定 期間:平成30~平成33(令和3)年度	← 参酌
R3(2021)年度	スポーツ推進計画 の見直し	第3期スポーツ基本計画 ← 参酌

### 3 現計画の性格

- （1）現計画は、本審議会により建議された「県スポーツ推進計画の見直し」（H30.03）及び「静岡県の新ビジョン」や「県教育振興基本計画」を踏まえながら策定
- （2）現計画は、スポーツ基本法に基づき、本県スポーツ推進の基本的な方向性を示した計画であり、国「第2期スポーツ基本計画（H29.03）」を参酌し、本県の実情に合わせて策定
- （3）本計画は、県、市町の行政機関、スポーツ関係団体、企業、学校、地域、家庭など、社会全体でスポーツ推進に取り組む方向性を示したもの。

#### 4 見直し基本方針（案）

- スポーツ基本法に基づき、本県スポーツ推進の基本的な方向性を示す計画として、国の「第3期スポーツ基本計画」（令和4年3月公表予定）を参酌して、本県の実情に合わせて見直しを行う。
- 次期計画では上位計画である国の計画期間（国計画：令和4年度～8年度/5年間）とされており、策定期間が重ならないよう県の計画期間を検討
- 国の「第3期スポーツ基本計画」や、県の新たな総合計画を勘案して、令和3年度本審議会で計画期間、現計画の評価（成果・課題）、次期計画の柱などについて審議を行う。

#### 5 次期計画の方向性（案）

##### （1）現計画の主な成果・課題

現スポーツ推進計画の進捗状況の評価しつつ、社会情勢や国の動向を踏まえて検討

○成果：RWCの成功、サイクルスポーツの取組 など

○課題：伸び悩むスポーツ実施率、子供の体力低下、部活動の地域移行 など

##### （2）次期計画の考慮すべきポイント

令和3年5月頃開催が予定される国審議会の諮問や、以下の社会情勢を踏まえて、次期計画の柱を設定する。

○オリパラレガシー、ポストオリパラ

○新型コロナウイルス感染症拡大による社会の変化

○より良い社会づくりへの貢献（SDGs） など

#### 6 想定作業スケジュール（案）

時期	県計画	国計画
R3(2021). 5	現計画の評価整理・庁内関係課への照会等	国審議会Ⅰ（諮問）
6	県審議会Ⅰ（諮問、現計画の進捗評価）	団体等ヒアリング・課題整理
7	(オリンピック7.23～8.8/ハリンピック8.24～9.5)	
9		
10		骨子案・素案作成
11		国審議会Ⅱ（中間報告案）
12	県審議会Ⅱ（中間報告案）	
R4(2022). 1	中間報告のパブコメ	中間報告のパブコメ
2		答申案審議
3	県審議会Ⅲ（答申）、公表	国審議会Ⅲ（答申）、公表

(参考) 静岡県スポーツ推進計画

静岡県スポーツ推進計画

スポーツの聖地づくり

(1) スポーツ参画人口の拡大

指 標	H29	H30	R元	目標値
成人の週1回のスポーツ実施率	53.9%	52.9%	54.5%	65%
新体力テストが全国平均を上回る割合	75.5%	68.6%	59.3%	100%

【ポイント】

- ・ 乳幼児期から高齢期まで、ライフステージに応じたスポーツ参画機会を提供
- ・ スポーツ実施率が低い人たち（ビジネスパーソン、スポーツ嫌いの子など）が気軽に参加できる運動機会提供を促進

(2) スポーツ環境の基盤となる「人材」と「場」の充実

指 標	H29	H30	R元	目標値
県立水泳場及び富士水泳場の利用者数	281千人	303千人	283千人	310千人以上
県立武道館の利用者数	310千人	305千人	249千人	310千人以上

【ポイント】

- ・ 子供へのスポーツ機会の提供に向け、学校と地域相互の人材が連携
- ・ 中間支援組織の設立等による地域スポーツクラブの体制強化や、自立的な活動の促進支援

(3) スポーツを通じた多様性のある社会の実現

指 標	H29	H30	R元	目標値
静岡県障害者スポーツ大会への参加者数	2,859人	2,930人	2,902人	3,500人
成人女性の週1回のスポーツ実施率	53.9%	52.9%	52.8%	65%

【ポイント】

- ・ 障害のある人、女性など、スポーツ参加への配慮が必要で、今まで機会が少なかった人の参画を推進

(4) スポーツを通じた地域の活性化

指 標	H29	H30	R元	目標値
スポーツ・レクリエーション交流人口	2,693万人	2,703万人	2,588万人	3,500万人
東京2020オリ・パラ運営ボランティア登録者数	—	962人※	852人※	2,500人

※は都市ボランティアの人数。大会ボランティアは別途集計(R2.3以降役割及び会場が決定)

【ポイント】

- ・ ラグビーワールドカップ2019や、東京2020オリンピック・パラリンピックなどを契機にスポーツを通じた交流人口拡大や関連産業の振興に取り組み、地域を活性化

(5) 競技力の向上

指 標	H29	H30	R元	目標値
国民体育大会における総合成績	17位	19位	17位	8位
東京オリ・パラ出場の本県関係者数	—	—	—	85名以上

【ポイント】

- ・ ジュニアからトップレベルまでの体系的な人材育成とスポーツ環境の整備
- ・ トップアスリートのセカンドキャリアを経済界、競技団体と連携して支援

(6) クリーンでフェアなスポーツの推進

【ポイント】

- コンプライアンスやスポーツ団体のガバナンス強化とドーピングの防止